

【質疑応答】

≪「ひろしま給食」統一メニューを決める県民投票の実施について≫

N H K みんなで選ぶ「ひろしま給食」県民投票なんですが、先ほどもおっしゃっていましたが、改めてこの狙いとですね、どういうふうに県民の方に利用していただきたいかを伺いたいのですが。

教育長 はい、ひろしま給食はですね、「ひろしま給食100万食プロジェクト」を食育という観点から、平成25年〔度〕から行っておりまして、今回はその〔統一〕メニューを決める投票となります。給食は、児童生徒にとって大変大きな楽しみでもあります。この「ひろしま給食100万食プロジェクト」で、実際に児童生徒が考えたメニューを、おうちでも、おうちの方と一緒に作るなどしていただきたいです。地元の食材等も使って、工夫されているメニューも多くあります。食育という観点から、みんなで食べてみたいと思うメニューを選んでいただき、それを統一メニューとして、ひろしま給食のメニューを考えていきたいなと思っています。

≪広島叡智学園高等学校の入学者について≫

中国新聞 2022年度から高校の、海外の生徒の入学も始まってくると思うんですけども、改めて、どんな生徒に来ていただきたいかということがあれば教えてください。

教育長 はい、叡智学園につきましては、御承知のとおりですね、世界に羽ばたいていく生徒を育てていくということで、国内のみならず、多様な生徒を受け入れる予定であります。現在、〔中学〕1年生と2年生ということで、県外からも生徒が来て、寝食を共にして、様々な学びをやっておりますけれども、やはり海外から来る生徒に関しても、探究的な学びを共に行っていくという観点で、同じような、気概のある生徒さんに来ていただければと思っております。

≪特別支援学校の生徒への就職支援について≫

朝日新聞 先ほどの発表項目と若干関係するところもあるんですけども、特別支援学校の技能検定も含めてだと思んですが、雇用情勢、特にコロナの影響があって雇用情勢が厳しくなりそうだという前提で、特別支援学校に通われる生徒さんの就職というのが、今後難しくなる可能性があると思うんですが、その中で県教育委員会として、すぐに対策というのは難しいのかもしれませんが、方向性として今後どのようなことを、就職活動を控えた生徒さんたちに取り組むというか、何か考えていらっしゃるものがあれば教えてください。

教育長 既に厳しくなるだろうと思っておりましたので、県内の企業向けに、特別支援学校の生徒さんについて、特別な御配慮をいただきたいということで、正式にお願いをさせていただきます。技能検定〔の認定〕を取って、それから企業への職場体験を基にして就職するというのが、若干ちょっと今年コロナの影響で難しくなっておりますけれども、3年生になっていきなり職場体験というわけではなくて、2年生から〔職場体験を〕重ねておりますので、一つはそちらの方で〔就職するということがあります〕。今年に関しては、何とかなるんじゃないかと、各学校から聞いております。ただ、これはこのコロナ禍で、企業そのものも、様々〔経営など〕難しいということが予想される中で、引き続き校長が、直接企業を回ってトップアプローチをする、JST（ジョブ・サポート・ティーチャー）等に力を注いでいただくなど、地道な日々のつながりや取組の中で、就職を希望する特別支援学校の生徒は全員、就職できるようにと。それからそれ（就職）に伴う実力がなくなかなか難しいので、それは技能検定等できちっと段階をおって、ループリックで、次は何

をやったらいいのかということで、力を付けさせたいなと思っております。

朝日新聞 例えば、保護者の方から、心配の声などが実際に寄せられているということが増えているということはありますでしょうか。

教 育 長 どうですかね、私が学校訪問をしておりますと、保護者の方から心配というよりも、よろしく願いますという声の方が多いと聞きますけれども。今のところそういう面では、保護者の方も御心配であると思うんですけども、学校も精一杯のことをやっておりますので、結果を注視していきたいなと思っております。県教育委員会といたしましても、できる限りのサポート・支援をしていきたいなと思っています。